※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１０

令和８年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	舞台映像技術 （映像技術）	単位数	２単位のうちの１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

以下の３つの分野について、１週ごとに替わって授業を行います。
（映像）授業での実習を通して、基本的なカメラ操作の方法や専門用語を身に着けてください。後半はグループに分かれて、カット割り・カメラ撮影・スイッチングなどを体験してもらいます。
（照明）照明は舞台に大きな効果を与えますが、照明機器は扱いを間違えると大変危険な事故につながります。舞台照明の基本的な知識と操作方法を理解して安全で素晴らしい舞台作りができるよう取り組んでください。
（音声）音とは何か、また音の特性にはどのようなものがあるかを理解し、マイク・アンプ・スピーカー・ミキサーなど機材を正しくセッティングできるようになってください。後半はアニメーションのアフレコを体験してもらいます。

２　学習の到達目標

（１）講義を通じて、映像・照明・音声について基礎的な知識を習得することを目標とする。
（２）上記の知識を習得したうえで、機材を操作して自分のアイデアやプランを自由に表現できるようになることをめざす。
（３）映像・照明・音声などの技術が、いかに舞台芸術に幅広い演出効果を与えているかを理解することで、良き鑑賞者の育成を目標とする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・映像・照明・音声についての知識を深めようとしている。 ・機材を安全に操作することができる。	・舞台映像技術の効果を正しく理解した上で、機材を適切に操作することができる。	・自ら進んで様々な舞台映像技術を身に付けようと努力している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
前期	映像	・光の三原色 ・カメラ撮影の専門用語・基本操作	a: 舞台映像技術（映像・照明・音声）について基本的な理論および専門用語などを理解しているか。また、安全性な操作についての知識も習得しているか。 b: 舞台映像技術の効果を正しく理解した上で、機材を適切に操作することができるか。 c: 自ら進んで様々な舞台映像技術を身に付けようと努力しているか。	筆記テスト	筆記テスト 授業観察	授業観察
	照明	・安全指導 ・照明の役割と目的 ・照明操作システム				
	音声	・音とは何か ・音の特性 ・音声に関する機器 ・調光操作卓の操作				
後期	映像	・カット割り台本作り ・カメラ撮影、スイッチングなど実習	a: 舞台映像技術（映像・照明・音声）について基本的な理論および専門用語などを理解しているか。また、安全性な操作についての知識も習得しているか。 b: 舞台映像技術の効果を正しく理解した上で、機材を適切に操作することができるか。 c: 器材を使った実習に積極的に取り組みを見せているか。	筆記テスト	筆記テスト 授業観察	授業観察
	照明	・テレビ照明と舞台照明 ・照明器材				
	音声	・収録機器のセッティング ・アニメーションのアフレコ				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度